

## 上海での学術交流会議「孫文・梅屋庄吉展」の開催・シンガポール孫中山南洋記念館での情報発信

上海・長崎間の航路と国際通信が近代日中交流に重要な役割を果たし、中国の革命家・孫文らと、梅屋庄吉など日本人支援者の夢は、上海航路と国際通信により繋がっていた。上海航路復活により上海と長崎のさらなる交流関係促進の必要性を、上海市民をはじめ中国へ広く発信することを目的として開催。またシンガポール孫中山南洋記念館にて開催された「孫文、日本とシンガポール」へ協賛し、長崎県観光情報パネル及び観光パンフ等を設置し、シンガポールでのPRを実施した。



学術交流会議の会場となった  
上海孫中山故居記念館

### 1. 学術交流会議

#### 「孫文・梅屋庄吉～二人をつないだ上海・長崎～」

- (1) 開催期間：2012年9月1日（土）～10月21日（日）
- (2) 主催：長崎県、上海市人民对外友好協会、上海市孫中山宋慶齡文物管理委員会
- (3) 概要：・実物を中心に日中合計約50点の文物を展示  
・海外で初となる小坂家所蔵資料の展示資料の  
出展
- (4) 場者数：14,610人

### 2. 展示会名：「孫文、日本とシンガポール」

- (1) 開催期間：2013年5月17日（金）～11月17日（日）
- (2) 主催：晚晴園-孫中山南洋記念館
- (3) 共催：小坂文乃氏、孫文記念館(神戸)、宮崎兄弟資料館(荒尾)、長崎歴史文化博物館、在シンガポール大使館、シンガポール日本人協会
- (4) 概要：展示は主に20世紀初期、シンガポール在住の日本人コミュニティ及び孫文の日本人支援者らのシンガポールでの活動を紹介。また、当時のシンガポールの日本人コミュニティと華人コミュニティの関係、孫文の日本人支援者、及びシンガポール、日本と中国3カ国間の関係を深く紹介。



「孫文、日本とシンガポール」の会場  
となった孫中山南洋記念館